

多様化・複雑化する時代

今号では、令和7年度の施政方針や主要事業などを紹介します。



和7年度の当初予算編成にあつては、「第2次にかほ市総合発展計画（後期基本計画R4～8）」、「にかほ市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の主要施策および「市長の2期目公約（7分野25項目）」に取り組むために予算を配分し、総額を171億4千万円と定めました。

特に近年、激甚化・頻発化する自然災害への備えや対策が必要であり、本市においても昨年7月の大雨災害からの復興ならびに防災対策事業に重点を置き、着実な復旧作業を進めるとともに、防災行政無線の強靱化や消防救急デジタル無線の更新など緊急防災対策や減災対策についても適時適策で対応していきます。

また、白幡森周辺エリア整備や象潟前川線道路整備、脱炭素化の推進と公共施設再編など、多様化・複雑化する諸課題の解決に取り組むために、限られた財源、人材、時間を効果的に配分し財政運営を行っていきます。

快適に くらせる まち

令和6年度に実施した自治会代表者や民生児童委員等との研修会を活かして、避難行動要支援者個別避難計画を作成し、誰ひとり取り残さない防災を目指します。

また、白幡森周辺エリア、若者支援住宅の整備については、今年度中の完了・引き渡しに向けて、敷地造成工事を進めます。

若者に 魅力ある まち

市内中小企業を対象に、求人サイトへの掲載料やSNSなどによる情報発信の費用の一部を支援し、若者の採用に積極的な企業を支援します。

また、若年就業者を対象としたコミュニケーションスキルやモチベーションの向上につながるセミナーを開催し、若者の地元定着を推進します。

人と 文化が 豊かな まち

市民がスポーツに親しむきっかけづくりとして地域のスポーツ団体や市スポーツ協会、スポーツ推進委員等と連携を図り、「スポレク祭」などの体験型イベントや体験教室を開催します。

また、自治会等の要望に応じた出前講座や市内スポーツジムを活用した体力づくりに積極的に取り組みます。

教育行政の 基本方針

令和7年度のにかほ市教育委員会では、昨年度に引き続き「超にかほ一体」を合い言葉に各種施策を進めていきます。市制20周年を迎え、4年目となる「にかほ市教育大綱」をベースに、旧3町が持っている教育資源の貴重な価値をさらに認知し活用しながら協働して教育政策に取り組み、にかほ市の教育が秋田県の「ふるさと教育」を牽引していけるよう推し進めていきます。

学校教育においては、昨年の小・中学校訪問を踏まえ、教職員は同僚や子どもたち、保護者を含めた他者に対して、「スマイル&リスペクト」をキーワードとした教育を実践していきます。また、「非認知能力」を意識した教育活動の推進として、学力検査等では測定・数値化できない能力である、「やる気、忍耐力、協調性、自制心」など、人の心や社会性に関する力、自分と他者を大切にできる非認知能力の育成を常に意識した教育を行い、「認知能力」と「非認知能力」のバランスを考慮しながら、個別最適な学びを提供できる学校教育を展開していきます。

学校環境適正化の計画については、少子化により出生数が減少するなかで、これまで広く市民の皆さまからいただいたご意見やご要望を踏まえた計画の実行にさらなる検討を重ねていきます。学校環境の適正化には学校教育の質を確保し、子どもたちが相互に関わりを持って、他者に対して優しく寄り添える「にかほ人（びと）」の育成と、地域を笑顔で元気にする教育環境の整備が重要です。そのためには、にかほ市における将来の子ども数について、予測データ等を参考にしながら多様な視点を取り入れ「適正な学校の在り方」について、綿密に検討していく必要があります。

にかほ市教育委員会は、教育行政を預かるものとしての「責任の重大さ」をあらためて深く認識し、令和7年度は何が最適解かを追究しながら、地域に根ざし信頼される教育、未来を拓く教育を進めるために全力で努力していきます。

7つの基本方針

第2次にかほ市総合発展計画の基本計画に掲げる7項目

子育て しやすい まち

子どもたちのスポーツ機会の充実を図るため、スポーツ少年団活動の支援および中学校運動部活動の地域展開に向け、地域のスポーツ団体と連携して取り組みを進めます。

また、幼児・児童期の体づくりを、NPO法人BSスポーツクラブにかほと連携を図りながら、各種活動を開きます。

高齢者が 元気な まち

75歳以上が対象の声かけ見守り巡回事業を、要介護認定者が増加する80歳以上に引き上げ、一人ひとりに十分な時間を確保し、問題の早期発見のための体制を強化します。

また、生活支援コーディネーターを配置し、集落サロンなど地域の居場所等に出向き、困りごとなどの情報収集に努めます。

稼ぐ力が 強い まち

地域農業の中心となる担い手と新規就農者の育成・確保に努めるとともに、稲作と高収益作物の複合化に必要な機械・設備の導入支援を継続します。

また、昨年6月にオープンしたニカホアウトドアベースを拠点とした（株）モンベルとの連携により、アウトドア観光の推進と交流人口の拡大を目指します。

市民と行政が 協働で つながる まち

本年10月1日に市制施行20周年を迎える節目に、市民のさらなる一体感や地域への愛着を醸成するため、20周年記念式典を実施します。

また、仁賀保高校に地域コーディネーターを新たに配置し、関係機関とより一層の連携強化を図り、魅力化プロジェクトを推進します。

主な施策